

We
are
かぞく!

はじめに

いとう家で飼っているネコのメイとトラのことをつづります。
最近の写真とともに普段のいとう家のネコちゃんたちを紹介します。

出会い

(メイ)小学校2年生の時に、ペットショップに行ったらオスとメスの兄妹の子ネコがいた。そのペットショップに一匹譲ってもらったのがメスの子ネコだった。いとう家はアパートで、ペット禁止のため、小屋に子ネコを飼うことにした。その日は名前が決まらなかった。次の日になって、誕生日が5月ということからママが「メイ」と名付けた。それがメイとの出会い。

(トラ)メイのご飯を買うために大型のペットショップに行ったら、10匹ぐらいの子ネコが一つの小屋に入れられていた。そこに貼ってあったのは『ペットショップの前に捨てられていました。一匹から譲ります。』という張り紙だった。小学生の私は、とてもネコが好きで2匹目を飼いたいと駄々をこねた。親は反対していたが時間がたって許してくれた。10匹ぐらいいる中で、一番ひとなつっこそうなオスの子ネコをもらうことにした。その子ネコがメイの前に行くと、警戒されてた。その日から仲が悪い。子ネコも次の日にトラ柄だから「トラ」と名付けた。それがトラとの出会い。

家族を紹介します

メイは普段は小屋にいる。

嬉しいときはノドをぐるぐる鳴らしてとてもうれしそうにしている。

嘸んだりしない心の優しい女の子。

小屋で飼っているため、若干ぽっちゃりである。

小屋を掃除してから何日間はトイレで寝るところが謎だ。



トラは自由自在のネコ。

窓をあけることができるため、勝手にベランダに出ては戻れなくて鳴く。

たまに一人で部屋をかけまわる運動会をする。

一緒に寝るが、朝起きると枕に頭をのせて寝ている。ご飯の食べ方が下手だ。



これがいとう家の家族

初めてのご飯&トイレ

メイもトラも初めてのご飯の共通点がある。

それは食べるときに「フニャン、フニャン」言いながら食べることだ。

おいしいのか小さな声で鳴いていた。

トイレは二匹ともすぐにトイレでできるようになった。

トラはびびると違う所でトイレをしてしまうこともあった。

今のトラはたまに布団でおしっこしてしまう。

スプレー効果というものらしい。

困った困ったー。



写真はご飯！！

一人っ子のあたい

私は一人っ子で、すごい兄弟がほしかった。

だからネコを飼うことになってとてもうれしかった。

ティッシュの箱にティッシュを敷き詰めて、ベッドみたいにして、その中にメイをいれたり、人形用の乳母車にメイを乗せて走ったりと毎日が楽しかった。

最初は子ネコだったのに、どんどん大きくなって行って、

自分も成長していくにつれ、動物を飼うということに責任をもつようになった。

仲(二匹編)

飼う時期も別々、大きさも違う、年齢も違う、

そんなメイとトラが仲良くなることを家族は願っていた。

しかし、メイは小屋なのにトラは小屋じゃない、トラとは一緒に寝るし、遊ぶのもメイより多い。

メイを部屋に出すとトラが追いかけてまわすから一緒に部屋にだすことができなくなっていった。

メイはトラが小屋に近付くだけで、うなるようになった。

10年以上飼っているから今は落ち着いているけれど、昔はすごく仲が悪かった。



名前(二匹編)

呼んだら鳴いてくれたり、
自分のところに来てくれたりも最初からできるわけではない。
違う名前でも反応していたのが、今ではちゃんとわかっている。
最近は名前で呼ぶ事はなく、
メイだったら「めーちゃん」、「メイちゃん」とか
トラだったら「とーちゃん」、「とーさん」、「とっちゃ」とか色々呼んでいる。
それでも振り向いてくれるから嬉しい。

足かみかみ(トラ編)

私が寝ていると夜中や朝方に足がチクチクすることがある。
見ると足を追いかけて必死に噛んでいた。
振り払っても追いかけてきて、足の指などを噛む事が何日も続いた。
しかも、私だけ。
寝るときは仲良く一緒に布団に入って寝るのに、なんでだろう。



こんなにかわいいのに・・・

夏(二匹編)

冬はこたつに入っているが、夏は暑くて今までに見た事ないくらい体がのびている。
トラは自ら涼しい廊下などに移動して暑さをしのいでいるが、
メイは小屋にいるために暑くては一は一と苦しそうにしているため、
家のクーラーはメイに合わせて調節している。



トラはこんなふうにな長くなっている。

お風呂(二匹編)

ネコはお風呂が嫌いである。

抱っこして連れて行くとすごい爪をたてる。

お風呂中は大きな声で鳴く。

お風呂からあがったら、ふいてあげるのにも関わらず自分の体をすごい舐める。

でも、お風呂入った後のネコはとても良い匂いがする。

お風呂にいれる気がなくても、抱っこして連れて行くと必死に捕まる。

相当お風呂が嫌いみたい。

涙(トラ編)

私が嫌な事があったり、親に怒られて泣いていると、
たとえ違う部屋にいてもまるで声をかけるように
ニャーニャー言いながら近寄ってきてスリスリしたりしてくれる。
これは昔から変わってなくて、
いつも支えられてる。



こんな格好していても
やるときはやるんです。

とんとん(メイ編)

小屋にいるメイは隣に私が座っていると、肩をトントンとしてくる。
そしたらなでなでしてあげるのがあたりまえになっている。
トントンの仕方が、爪をたてないように優しくという所がかわいい。

水(メイ編)

メイは小屋で飼っているため、水がなくなっていたらあげなくてはいけない。
気付かない時は、メイが水のお皿を手でひっかいて、
お皿をゴンゴンとならすと、のどが渴いているという事である。
その音で気づく事もある。

コーンの缶(二匹編)

たまにやわらかいご飯をあげることがある、いとう家。

普段はかたいご飯でやわらかいご飯だととても喜ぶ。

いとう家のご飯でサラダにコーンを使う時などコーンの缶をあけるときのなどがあるが、その時にいつも仲の悪い二匹が一斉に

「ニャー、ニャー」と鳴く。

ネコのやわらかいご飯も缶だからそれと勘違いしてずっと鳴いている。

ゴキブリ(トラ編)

いとう家ではゴキブリを一番に見つけるのはトラである。
トラが何も無いところをじーっと見ていてしばらくすると
ゴキブリが出てくるというような感じである。
困った事に、見つめていて匂いがかぎたくなるのか、
ゴキブリに鼻を近づけるとゴキブリは動き、
殺せないままゴキブリに遊ばれる事がある。
見つけたなら殺してほしいのに。

ちなみに、いとう家は田舎のため、
大量に虫が発生する。
それにはあまり気付かないいとう家の小さな家族。

他人から見たらペットというだけかもしれないが、
兄弟がいなかった私には、大事な兄弟である。
嫌な事があっても、一緒に寝たり、なでなでしたり、
自然に嫌な事も忘れていく時があるほど、大事な存在。
今では、いてあたりまえな存在だけれど、いつかは離ればなれになってしまう。
考えたくないけど、しょうがないことだと思う。
だから、今の生活の中でメイとトラを大事にして、
たくさん思い出を作りたい。
だって、家族だから。

いつか離れることがあっても、
一生二人のことは忘れない。
いとう家に来てくれて、ありがとう。
兄弟になってくれてありがとう。
いつも一緒にいてくれてありがとう。
離れることになったら
毎日泣くと思うけど、しばらくは許してね。
幸せだったと思ってくれるように愛情をたくさんあげるからね。

さいごに

いとう家に欠かせない存在のメイとトラ。
偶然出会った家族。
喋ったり、笑ったりしてくれないけれど、
一緒にいて楽しくて、本当に大切な存在だ。
喋る、笑う、そんなことしてくれなくても
一緒にいて幸せ。
この先何年も、
長く一緒にいたらいいな。

